

部門名	機械設備工事
案件名	中村元記念館（図書閲覧室系統）空調設備更新工事
工期（始）	令和3年10月21日
工期（終）	令和4年2月15日
場所	八束町
事業者名	山陰クボタ水道用材(株)
代表者名	代表取締役社長 杉谷 雅祥
技術者役職	主任技術者
技術者名	門脇 崇之
工事概要	老朽化に伴う空調設備等の更新（図書閲覧室系統） <ul style="list-style-type: none"> ・空冷ヒートポンプ式マルチエアコン 1 式 ・照明 LED 化 1 式 ・天井改修 1 式
表彰理由	本工事は複合施設内にある図書閲覧室の空調および付帯する照明、天井の更新を行ったものである。 空調更新が主たる工事ではあったが付帯する照明、天井の工事も実施し、納まり良く施工された。また八束支所、八束公民館と施設を使用しながらの工事であったが、各施設に大きな負担をかけることなく竣工した。全体的に優良な工事であった。

本工事の表彰技術者である、山陰クボタ水道用材株式会社の主任技術者（当時）門脇崇之氏は受賞の感想を、「このたびの受賞は先ず以て施工に協力していただいた協力会社の皆さんの協力の上に成り立っていると思っております。最終的に代表として表彰を受けたのが当社だったという形であると思っていますので施工に協力いただいた皆様へ感謝しております。」と語る。



本工事で印象に残ったことについて、「工事名称に「空調設備更新工事」とありましたが、施工内容に照明交換を含む「電気設備工事」、天井面解体から新たに仕上げ更新を含む「建築工事」が含まれる工事であり自身初体験の工事だったことです。」と話す。また、苦勞したことについては、「上記の通り、これまでに間接的に見てきたことはあっても実際に担当者として施工したことがない工種が工事内容に含まれていたためそれぞれの工種の施工上押えるべきポイントや完成形にたいしてどういう面をチェックしたらよいのかななどをそれぞれの工種の方から教わりながら工事を進めていったところでした。また、コロナ禍による海外のロックダウンなどの影響を大きく受けて製品納期の確定が出ず、工期内に製品が納入できるかどうか苦勞というかヒヤヒヤしました。」、そして注目してほしいごだわりは、「これまでと「変化がない」ことです。天井仕上げがきれいになったり照明が工事施工前に比べて明るくなったりと体感的な変化がありますが空調設備については「適度な換気と夏は冷房で涼し

く、冬は暖房で暖かく」という基本があるのでこれまでと同様もしくはより快適にすることが一番のこだわりです。」と語る。

門脇氏は仕事における今後の目標については、「当初の想定を超える仕事をしたいと思っています。」と話す。また、建設業のやりがいについては、「自分で作った図面と工程表で工事が予定通りに進むことを確認できると地道な活動が形になることを実感できて良いと感じます。」と話す。

これから建設業界を目指す人へは、「建設業界も近年のトレンドである DX(デジタルトランスフォーメーション)が進んできています。情報共有の方法もこれまでのペーパーからクラウドなどのオンラインにシフトしているように感じます。仕事の仕方もこれまでのやり方が通用しなくなることも近い将来かもしれません。今とこれからを繋ぐことができる人そういう先を見通せる考えと発想これからの強みになると思います。」とメッセージを送った。

最後に、門脇氏が勤務する山陰クボタ水道用材株式会社について紹介してもらいました。「私たちの会社は、水環境の一端を担い快適な市民生活を支えています。多様な事業を展開しながら、激しい時代変化にも柔軟に対応できる会社です。」



山陰クボタ水道用材 株式会社
(写真右) 代表取締役社長 杉谷氏
(写真左) 主任技術者 門脇氏